

高齢者の方などにインフルエンザ予防接種

インフルエンザ予防接種事業協力医療機関一覧表

Table with 3 columns: 病医院名, 所在地, 電話番号. Lists various medical facilities and their contact information.



対象は、接種日当日65歳以上の高齢者の方で、60、64歳で心臓病、腎臓病、呼吸器疾患、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害の方で、身体障害者手帳(1級)をお持ちの方。流行する前に、ぜひ予防接種をお受けください。インフルエンザ予防接種は、ご本人が希望しない場合、接種を行うことはありません。

10月15日(平成17年1月31日)(年末年始を除く)、市内協力医療機関(別表のとおり)で実施日時は医療機関により異なりますのでご注意ください。接種回数(公費負担回数)は1回。なお、接種には自己負担額2,200円が必要です。医療機関の窓口でお支払いください。生活保護を受給中の方は自己負担金が免除されますので生活福祉課 ☎内線2641へお問い合わせください。

「孫の口の中を覗いてみたら」

「乳歯なんか、いすれ生え変わるんだから、治療なんかなくてもいいよ」といわれた育った子どもは、戦後、必死になって走ってきた。いよいよ、団塊の世代といわれる人たちが、この口の中を覗いたら、むし歯の少ないことに驚かされるであろう。

「なぜ歯みがきするの?」学童に聞いてみると、やはり、むし歯にならないためと答えるのが85%程度。そのほか、歯肉炎にならないため、病気になるため、年をとっても自分の歯で食べたいから、そして、残りの数が、健康のためと考えている。

我が国では、全ての年齢層で死亡率が低く、介護を必要としない自立して生活できる健康寿命が女性で75.8歳、男性71.4歳。世界でもトップクラスである。この健康寿命が延びてきたのは、病気の早期発見や早期治療といわれていた二次予防から、生活習慣を見直し、環境の改善などにより病気の発生そのものを予防していく一次予防の考え方に転換していったことの成果である。

「21世紀における国民健康づくり運動」の具体的な目標の中に、「歯の健康」が設定されている。個人が自分の健康管理に積極的に取り組める基盤が整備されてきている。老人

と呼ばれる人、団塊の世代といわれる人たちは、今、自分たちの生活の質の向上に目を向けている。むし歯の少なくなった子どもたちに、歯周病へとつながる歯肉炎の知識が広まっている。いつまでも自分の歯で食べたいという、一次予防の基本的な理念が芽生えているからだろう。

歯槽から膿が漏れると書く「年寄りにくい」歯槽膿漏という病名はいま使われず、歯周病という病名です。すでに子どもたちへの身近な病気として認識を深めている。大人が暮らしてを求めていくが、孫を抱くだけなく、孫の口の中を覗いてみたいいかがですか。(三鷹市歯科医師会)

調布市の協力医療機関もご利用できます。調布市の協力医療機関については三鷹市総合保健センター ☎463254へお問い合わせください。接種の受け方(持ち物など) 年齢を確認するための健康保険証などを協力医療機関に提示し、予診票に必要事項を記入し接種を受けてください。生活保護受給者の方は、生活福祉課発行の予診票などが必ず必要です。

三鷹市医師会主催 50歳以上の男性対象 前立腺がん検診 対象は市内在住の50歳以上の男性。前立腺がんは男性特有のがんで、最近増加の傾向にあります。早期には自覚症状がまったくない、検診を受けなければ発見は困難です。ぜひこの機会に検診を受けることをお勧めします。11月1日(日)30日(日)、市内協力医療機関で。検診方法は採血と前立腺腫瘍内診。10月11日(日)(必着)までにはがきに「前立腺がん検診希望」・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・生年月日・年齢を記入し、〒181-0014野崎1-7 23三鷹市医師会前立腺がん検診係へ申し込む。無料。先着50人(10月下旬に受診票・検査伝票・実施医療機関一覧表をお送りします)。

10月の食品・環境衛生出張窓口 10月28日(午後1時~4時) 総合保健センター別館1階。業務内容は、食品関係営業許可の更新申請および食品衛生講習会(講習会は2時30分からは) 環境衛生関係届出施設の変更届などの受付、水質検査容器の無料配付、食品・環境衛生の相談受付。多摩府中保健所武蔵野三鷹地域センター ☎5422009。次回は11月25日(日)です。

多摩府中保健所 10月の食品・環境衛生出張窓口 10月28日(午後1時~4時) 総合保健センター別館1階。業務内容は、食品関係営業許可の更新申請および食品衛生講習会(講習会は2時30分からは) 環境衛生関係届出施設の変更届などの受付、水質検査容器の無料配付、食品・環境衛生の相談受付。多摩府中保健所武蔵野三鷹地域センター ☎5422009。次回は11月25日(日)です。

調布市の協力医療機関もご利用できます。調布市の協力医療機関については三鷹市総合保健センター ☎463254へお問い合わせください。接種の受け方(持ち物など) 年齢を確認するための健康保険証などを協力医療機関に提示し、予診票に必要事項を記入し接種を受けてください。生活保護受給者の方は、生活福祉課発行の予診票などが必ず必要です。

10月29日(午前10時~正午) 総合保健センターで。講師はあきやま子どもクリニック臨床心理士の石橋さゆりさん。母子手帳、保育を受けられる方はオムツ、タオルなど保育に必要なものを持参。保育は30人まで。9時45分にお越しください。ただし、お座りのできないお子さんは保育できません。また、保護者の方と一緒に講義に参加することはできません。10月15日(日)(消印有効)まで。往復はがきに育児学級希望・住所・氏名・電話番号・保育希望の有無(保育希望の方はお子さんの人数と生年月日)・返信用はがきの宛先を記入し「〒181-0004新川6-35 28 三鷹市総合保健センター」へ申し込む(申込多数の場合は抽選)。

こもれび ほつと・サークル's・カフェでおしやべりを NPO法人こもれびでは、市との協働で、高齢者の方と毎月さまざまな活動を行っています。対象はおおむね65歳以上の方。おしゃべりとおいしいお菓子で楽しいひとときを一緒にしましょう。毎月第2金曜日午後1時30分~3時30分。スペースS(下連雀一丁目)で。お好きな時間にごとぞ。参加費300円。こもれび事務局 ☎424469。こもれび電話相談 ☎424471。高齢者から子どもまで、毎日の生活の中で困りのことなど、お気軽にご相談ください。ヘルパーさんからの相談にも応じます。毎週水曜日と金曜日午後1時~3時には相談員が対応いたします。高齢者支援室 ☎内線2623

多摩府中保健所

精神保健医療相談 10月19日(日) 21日(火) 眠れない、何もしたくない、家に閉じこもりがち、人と接するのがつらいなどお悩みの方。 思春期相談 10月20日(日) 思春期は、著しい身体の変化とともに心も大きく揺れ動く年代です。思春期、青年期の心の悩みや家族問題についてお悩みの方。アルコール相談 10月18日(日) アルコール依存症などを克服し、生活を改善するため、本人や家族がどのようにすればよいかなどを話し合います。 事前に同保健所へ申し込む。相談場所が武蔵野三鷹地域センター(旧三鷹武蔵野保健所)・三鷹市総合保健センターと分かれることがありますので、必ずご確認ください。 相談日以外でも、保健師が相談に応じています(要予約)。

精神保健相談

専門医と保健師による個別相談を行います。相談時間はいつでも。